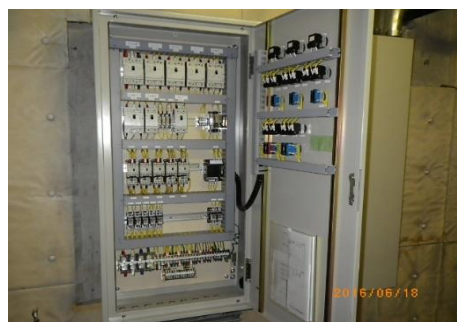


DSP処理槽点検報告より、不具合発生・異常あり！



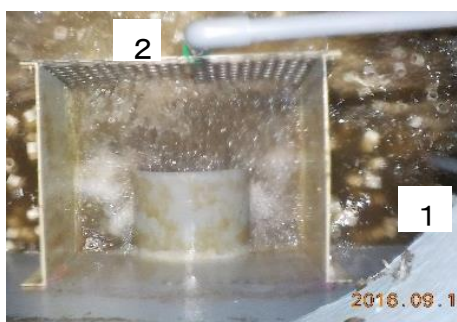
放流ポンプユニオンの破損状況です。原因は、ユニオンの材質の問題か、外部から大きな力(地震)が作用したか？推測の域を出ません。同じ現象が数か所で起きています。



既設の制御盤の液晶画面が薄くなり操作ができなくなりました。制御盤はマイクロシーケンサー・液晶画面でなく、リレー操作回路盤に交換となりました。



ポンプ警報の要請を受けた。バルブソケットの絞め過ぎで接続フランジが欠けており、よって、配管漏れを引き起こしポンプは吐出しをしていなかった。急きょ保守点検の委託となりました。



担体流出防止スクリーンに、担体及び未分解の生ゴミが詰まり度々閉塞を起こす。閉塞防止散気装置を、1から2へ移動した。その結果、スクリーンの閉塞は解消されました。



吐出しが弱くポンプを分解したら、インペラー吸い込み箇所に担体がぎっしり詰まっていた。

担体を除去し、ポンプを組み立て正常な状態に戻しました。



原水ポンプが満水警報を発するので、ポンプを引き上げて見たらびっくり仰天、ポンプの底部に大きな穴が開いていました。不思議発見です。

水物語 No31 清流日本一は高津川(島根県)でした！！ 四万十川ではありませんでした。

西中国山地に位置する県境の町・吉賀町を発し、津和野町を経て増田市から日本海に注ぐ一級河川・高津川は、国土交通省の水質ランキングでトップに輝く日本一の清流です。

その流れは、天然アユなど川の命をはぐむとともに、数々の歴史や伝統を今に伝えていきます。

樹齢1000年を超す巨樹の根元に湧く泉「大蛇が池」が高津川の水源地です。

スサノオに討たれた八岐大蛇の魂が宿るといふ池の伝説さながら、川は全長81kmの巨体をくねらせ山を下ります。

太古、瀬戸内海へそぐ錦川に最上流部の流れを奪われたため、かつての川床が今の吉賀の平野を形づくります。その景色が一転し、急峻な渓谷地となるのが中流の津和野町です。ここは源平の歴史絵巻が繰り広げられた土地でもあります。

平家が落とした左の鎧からその名の付いた左鎧地区には、落人が話合った集議谷、安徳天皇が休まれた御殿岩が、追手と激しく戦った軍場谷などの地名が残っています。

川が大きく蛇行する難所の晩越峠では、前方に現れたサギを源氏の白旗と見間違えて敗戦を覚悟したと伝えられ、ここを境に平家伝説は途絶えます。

益田市内に入ると景勝地で知られる支川・匹見川と合流し、川幅はゆったりと広がります。

高津川が日本海に辿り着いた河口の西は三里ヶ浜海岸といい、美しい夕日で知られています。

支川を合わせた流域は、清流ならではのワサビ栽培や川遊びの憩いの場所です。周辺には安蔵寺山や恐羅漢山など1,000m級の登山スポットも豊富です。



東京都中央区新川1-16-8 EKSビル 6F
汚泥ゼロ・臭気ゼロ
ハイブリッドシステム推進中！